

ミッション企画書

作成日： 2023年 2月 1日

校名：原田校

企画者：本田

活動名：重さ当てゲーム

本活動の着目点

数字は言っても物と数字がリンク出来ていない事もあり数の概念を理解出来るように本活動を立案した

目的・趣旨(ねらい)

- ・目で見て推測する
- ・計算する
- ・集中力を高める
- ・数の概念を理解する

活動の概要

【場所】

はこでみ各校 活動部屋

【日時・所要時間】

約 15分～ 20分程度

【人数】

2～5人以上(小集団)

【対象者】

はこでみ利用者の児童 小学生1年生以上

【必要な道具】

- ・身近にあるもの
- ・お題 5問
- ・はかり 1つ
- ・ボール 1つ
- ・ボード 1つ
- ・計算用紙 1人1枚

活動の進め方

【進行方法・ルール】

ミッション開始前に準備物を用意し、10分前から活動の声掛けを行う。テーブルを囲むように座り、中央に身近にあるものを用意する。

その後、ルールを説明し、また本活動に対する質疑応答を実施する。

ミッション企画書

ルールについては下記内容にて行う。

- ・お題は5問用意し1問ずつ提示する（時間によってお題の数は調整してよい）
- ・参加者は重さに見合ったものをボウルに入れていく
- ・参加者全員がボウルに入れ終わったら順番にスタッフが量っていく
- ・図り終え、お題に記載してある重さと一番近い参加者がその重さ分のポイントを獲得できる
- ・ボードがある場合は得点を記入する
- ・すべてのお題が終わり最終的に得点をたくさん獲得していた参加者が勝利となる

【進行上の留意点】

- ・実際にお手本として職員が実演してみせると分かりやすい
- ・人数が多い場合は2人1組のペアを作り交代毎に参加していくとよい
- ・ゲームの途中で身近にあるもの毎に重さが書かれてあるヒント表を提示すると分かりやすい

ヒント表

- 木のブロック 10g
- ペットボトルのキャップ 3g
- おはし 6g
- マジックペン 22g
- 牛乳パック 30g

- ・お題の5問や身近にあるものの重さは区切りのいい数字の方が分かりやすい
- ・テーブルの中央に置く身近にあるものは、種類事に分けて置き個数が記載してあるカードをその横に設置すると目で見て分かりやすい
- ・苦手な参加者には応援役やボウルの重さを量る役をしてもらうとよい

【役割：スタッフ】※最低1人以上。3人以上いると好ましい

進行：スタッフ①

補助：スタッフ②

写真撮影係：スタッフ③

スタッフの着目点

- ・最後まで諦めずに参加できているか観察する
- ・どのくらい集中できているか観察する

ミッション企画書

活動を行う上での注意点	
・推測することが苦手な児童には補助を行う	
予算	
物品は各事業所にあるものとして算出	計 0円
その他	